

取扱説明書

施工店様へのお願い この説明書は必ずお客様にお渡しください。

品番	WTK 1811 W / F / G / H	ブランクチップ付	W (ホワイト) / F (ベージュ) / G (利休色) / H (グレー) / S (ウォームシルバー) / F2 (ライトブロンズ) / S2 (シルバーグレー)
	WTK 1811 S		
	WTK 18115 W / F / G	スイッチスペース付	
	WTK 18115 S		
	WTK 18116 F2 / S2	パイロット・ほたるスイッチC付	

ご購入いただきありがとうございました。よくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと、大切に保管してください。

ご注意!

蛍光灯は、頻繁に点滅を繰り返すとランプ寿命が短くなります。検知回数の多くなる所(人通りの多い通路、廊下、トイレやマンションのエントランスホールなど)にご使用になる場合は、白熱灯器具または電子スタート式蛍光灯器具、高周波点灯蛍光灯(インバータ)器具をご使用ください。(グロー式蛍光灯、ラピッド式蛍光灯、電球形蛍光灯は、極端にランプ寿命が短くなります。)さらに、点滅回数が少なくなるよう、明るさセンサ調整ツマミを「暗め」側、動作保持時間ツマミを15分以上の長めの時間に設定してください。

安全上のご注意



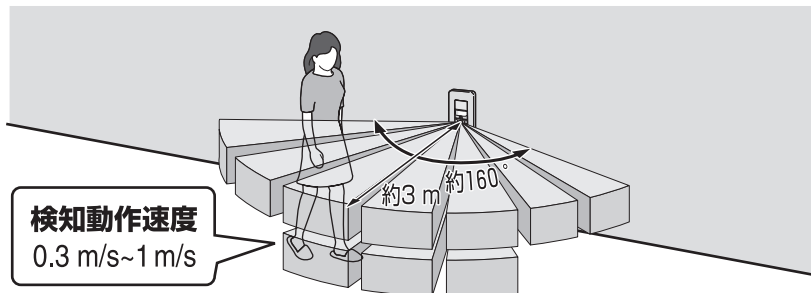
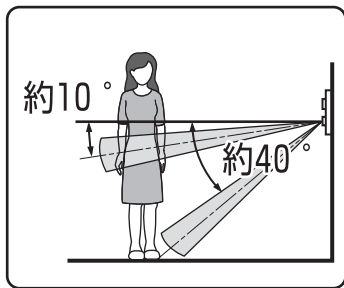
警告

- 照明器具のお手入れは、必ず手動スイッチ(2箇所検知させてご使用の場合は2箇所とも)を「切」にして行ってください。
手動スイッチを「切」にしないと、感電や思わぬ事故の原因になります。
※2箇所検知させてご使用の場合、2箇所とも手動スイッチを「切」にしないと照明器具の電源は切れません。
- 水をかけないでください。
水などがかかると感電や火災の原因になります。

取り扱い上のご注意

- 熱線センサの汚れは、柔らかい乾いた布で傷を付けないようにふき取ってください。
シンナー、アルカリ性洗剤、酸性洗剤、クレンザー、殺虫剤などは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。

検知できる範囲



検知動作速度
0.3 m/s~1 m/s

故障ではありません

■照明器具が勝手に「OFF」または「ON」する場合があります。

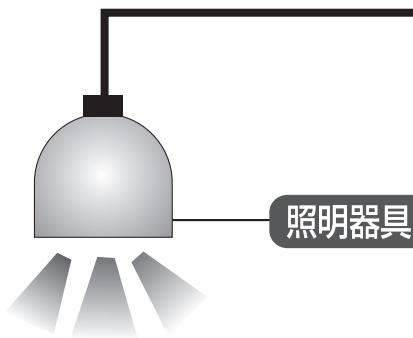
検知しない・検知感が鈍い場合

- 夏場など室温が体温に近づいたとき
- センサに向かって、まっすぐに近づいたとき
- 人が静止しているとき(検知動作速度0.3 m/s~1 m/s)
- 周りが明るいとき

勝手に「ON」する場合

- 強力な電波、誘導雷サージなどの電氣的雑音を受けたとき
- エアコンやヒーターの風を検知したとき
- カーテンや観葉植物などゆれる物などを検知したとき
- 加湿器などの蒸気を検知したとき

熱線センサ付自動スイッチについて

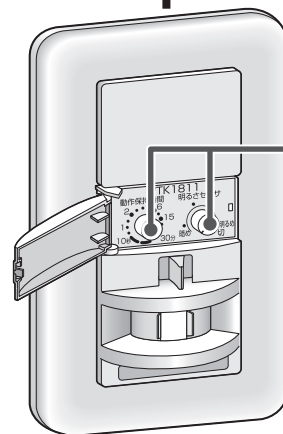
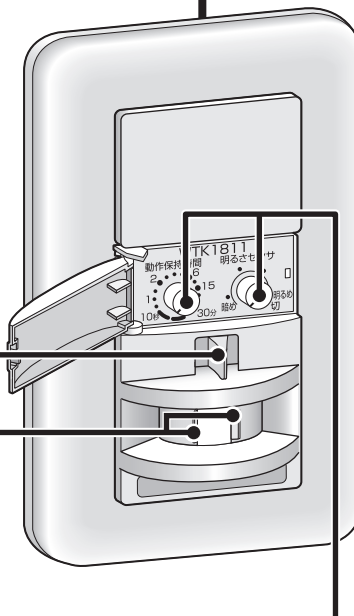


照明器具

人の動きなどを検知して照明を**ON**、一定時間後**OFF**にします。

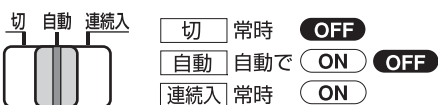
※周囲が明るいときには照明は点灯しません。

2箇所検知させてご使用のとき

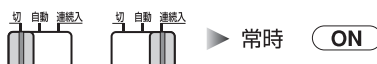
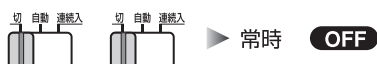


※図はブランクチップ付です。

手で照明を連続「入」・「切」ができます。



2箇所検知させて使用する場合



ご参考

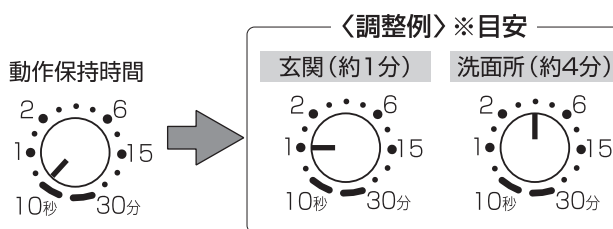


扉を開けて調整してください。

2箇所検知させて使用する場合は、それぞれのセンサを調整してください。

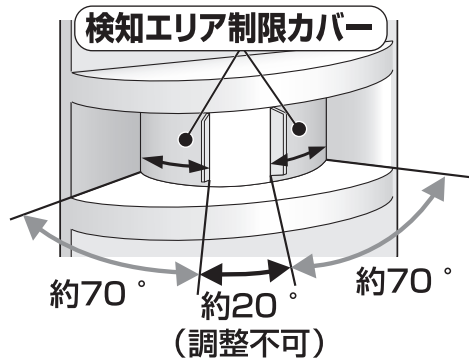
- 2箇所のセンサは、それぞれ調整された内容で動作します。
- どちらかがONすれば、照明は点灯します。
- 照明点灯中は2箇所とも周囲の明るさに関係なく検知します。

照明の**ON**している時間を約10秒～30分まで調整できます。



注) ツマミは「カチッ」と止まる位置に合わせてください。
クリック感のない中間位置では正しく時間設定できません。

水平方向の検知エリアを調整できます。



カバーをスライドさせて、水平方向の検知エリアを狭くすることができます。

熱線センサが働く周囲の明るさが変更できます。



お使いになってみて、周囲がもう少し明るい状態で点灯してほしいときは「明るめ」、もう少し暗い状態で点灯してほしいときは「暗め」の方向にツマミを回して調整してください。